

○ impossible を I'm possible に ～ボッチャ体験～



2020東京オリンピック、パラリンピックは新型コロナウイルス感染症の影響で来年に延期されることが決まっています。

1年生のホームルームでは、パラリンピックの競技の一つである「ボッチャ」を体験して、パラスポーツの理解とともに、パラリンピックの歴史や意義を学び、共生社会に向けて生きる能力と態度を養う計画です。

本校では、昨年度総合的な探究の時間に地域の小学生との交流活動の中で、「ボッチャ」を体験してもらっています。

今回1年生全員が一度に体験するためには、用具が足りません。

「足りないなら作ってしまおう」と6月12日のホームルームにおいて部活動で使わなくなったボールを改良して「ボッチャ」用のボールをつくることを藤野主任が発案、生徒たちが協力して制作しました。

6月24日、兵庫県教育委員会人権教育課の訪問指導でこの体験の様子を見ていただく予定です。



○村高発 地域元気化プロジェクト ～どの班に入る?～

地域との協働活動、それは村岡高校の大きな特色の一つです。全校生徒を縦割りにして5班8グループが様々な地域との協働活動を行っています。その柱となるのが、総合的な探究の時間に行う「村高発 地域元気化プロジェクト」です。

本来なら入学後すぐにその概要について説明を受け、班別の活動を行っていきませんが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校が2か月続いたことにより、最初の時間が6月12日になってしまいました。

全校生がスタッフとして活動する「みかた残酷マラソン全国大会」もこの活動の一環です。(いまのところ6月14日実施予定が11月15日に延期されることになっています。地域の皆さんとともに全国から訪れる3000人を超えるランナーを迎える大会、村岡高校はその大会をスタッフとして支えます。) ようやく本日プロジェクトのスタートを切ることができました。

